

住宅気密性能評価書

1. 建築主 : 有限会社ダイゼン
2. 建物の名称 : 様邸 新築工事
3. 建物の所在地 : 徳島県徳島市
4. 測定年月日 : 2021年6月14日

相当隙間面積【C値】 : $0.11\text{cm}^2/\text{m}^2$ ※参考値 エラー発生のため
隙間特性値【n値】 : 1.25
ACH : 0.2回/h

評価書交付年月日 : 2021年6月18日

測定者 : 香川県高松市寿町2-2-10
高松寿町プライムビル6F
日本住環境株式会社 高松営業所

住宅の気密性能試験結果（1）

依頼者	会社名又は氏名	有限会社ダイゼン	電話	088-634-3725
	住所	徳島県徳島市南田宮3丁目4-7		

測定対象建物の概要				
建物の名称		様邸 新築工事		
所在地		徳島県徳島市		
竣工年月日		令和3年6月14日(測定日)		
構造及び工法		在来軸組工法 木造2階建		
建物の規模	地階床面積		m ²	
	1階床面積	69.56	m ²	
	2階床面積	55.48	m ²	
	3階床面積		m ²	
	延べ床面積	125.04	m ² (A)	
開口部の仕様		窓-----単層(引き違い、外開き、内開き)、2重窓(引き違い、外開き、内開き)、 その他(構成と開閉方式： 玄関戸----引き戸、外開き戸、内開き戸、その他()		
主な部位の気密層の仕様		防湿フィルム(気密テープ： <u>使用</u> ・不使用)、内装材、断熱材、構造材(コンクリートなど)、その他()		
建物概要図		別紙図面の通り。		
通気量を測定した位置		添付平面図に示す。		

測定時の建物条件				
	部 位	開 閉 状 態 等	確認	特記事項(左欄以外の処理方法)
1	建物外被にあるドア・窓	ロック(施錠)だけ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	なし	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	なし	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	目張り	○	
7	台所レンジファン	目張り	○	
8	換気扇・天井扇	目張り	○	
9	FF式以外の煙突の穴	目張り	なし	
10	屋外に通じる排水管	封水又は管口を目張り	○	
11	集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口	目張り	○	
12	建物外被の外側にある開口部	普通に開けた状態	なし	
測定対象外にした部分(空間)の名称		なし		
同上で延べ床面積(A)に含まれる床面積			m ² (B)	
吹き抜け・床下・小屋裏など測定対象の相当床面積		57.53	m ³ ÷ 2.6 m = 22.13 m ² (C)	
測定対象とした建物の実質延べ床面積(S)		S = (A) - (B) + (C) = 147.17 m ²		
測定対象とした建物の外被内容積		V = 382.64 m ³ (漏気回数を求めるときに記入のこと)		

注) 確認欄には、各状態を確認後、○印を付すこと。

住宅の気密性能試験結果 (2)

様邸 新築工事

測定者・測定方法・測定装置			
事業所	日本住環境株式会社	事業所登録番号	0078
所在地	東京都台東区秋葉原1-1 秋葉原ビジネスセンター9F	測定者	菅原
		登録番号	05332-21
測定方法	JIS A 2201(送風機による住宅等の気密性能試験方法)による。 流量及び圧力の測定は、あらかじめ校正した測定装置を使用して行った。 (測定回数や測定時の外部環境などの理由から、試験結果は参考値となります)		
測定装置	コーナー札幌(株) KNS-5000C型(管理番号:高松1、製造番号:15-5019)		

試験日時	2021年6月14日 14時00分		～	15時00分 まで	
測定時の環境	天候	晴れ		風速	3.6 m/S
	室内温度	26.4 °C		風向(主風向)	東南東
	外気温度	29.8 °C		風速測定位置	アメダス
				気圧	1005.5 hPa

各圧力差 ΔP(Pa)における 通気量 Q(m ³ /h)	測定回	1回		2回		3回	
	測定点	ΔP	Q	ΔP	Q	ΔP	Q
	1	22.0	85				
	2	30.7	111				
	3	41.7	143				
	4	50.6	158				
	5	60.5	195				

データの測定回	1回	2回	3回	平均
隙間特性値: $n(1 \leq n \leq 2)$	1.25	←左記は測定不能の為 4.5×4.5=約14cm ² の穴を 開けて測定した数値。 よって $\alpha A = 30 - 14 = 16 \text{ cm}^2$ $16 \div 147.17 = C \text{ 値 } 0.1 \text{ cm}$ と推測する(参考値)。		1.25
通気率(ΔP=1Pa時の通気量): $a(\text{m}^3/\text{h} \cdot \text{Pa}^{1/n})$	7.1			
ΔP=9.8Paにおける通気量: $Q_{9.8}(\text{m}^3/\text{h})$	44.3			
係数: $b = 0.627 \rho^{1/2}$	0.677			
総相当隙間面積: $\alpha A = Q_{9.8} \times b(\text{cm}^2)$	30	0		
相当隙間面積: $C = \alpha A / S(\text{cm}^2/\text{m}^2)$	0.11	0.0		0.06
参考: 50Pa時の漏気回数: ACH(回/h)	0.4	0.0		0.2
50Pa時の通気量(m ³ /h)	163			

測定結果添付欄

アメニティエアロテスタ KNS-5000C
KONA Sapporo Co., LTD Ver 5.50

2021年06月14日 データNo. 0001
モード: セミオート測定 (減圧法)

相当隙間面積: C = 0.2cm²/m²
建物外皮の実質延べ床面積: S = 147.17m²

総相当隙間面積: $\alpha A = 30 \text{ cm}^2$
隙間特性値: $n = 1.25$
通気率(ΔP=1Pa時の通気量): $a = 7.1$
ΔP=9.8Paにおける通気量: $Q_{9.8} = 44.3 \text{ m}^3/\text{h}$

室内温度: 26.4°C 係数(b): 0.677
外気温度: 29.8°C

測定パラメータ

圧力差 22.0Pa	通気量 85m ³ /h
圧力差 30.7Pa	通気量 111m ³ /h
圧力差 41.7Pa	通気量 143m ³ /h
圧力差 50.6Pa	通気量 158m ³ /h
圧力差 60.5Pa	通気量 195m ³ /h

50.0Pa時の確定流量: 163m³/h

***** DATA ERROR *****

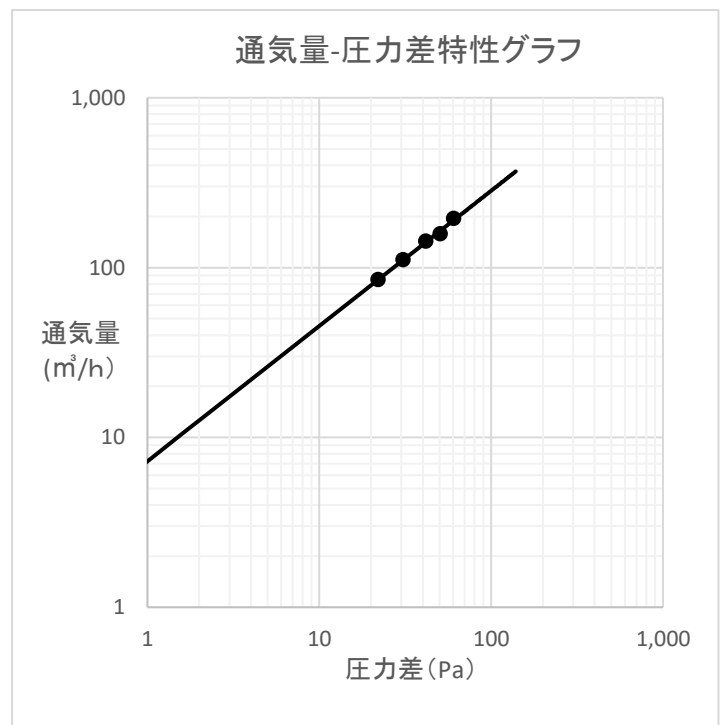
データが異常です。
再度測定して下さい。

隙間特性値: $n = 0.75$
通気率(ΔP=1Pa時の通気量): $a = 0.7$
ΔP=9.8Paにおける通気量: $Q_{9.8} = 13.8 \text{ m}^3/\text{h}$

圧力差 21.0Pa	通気量 35m ³ /h
圧力差 31.3Pa	通気量 83m ³ /h
圧力差 42.0Pa	通気量 103m ³ /h
圧力差 49.1Pa	通気量 117m ³ /h
圧力差 60.4Pa	通気量 130m ³ /h

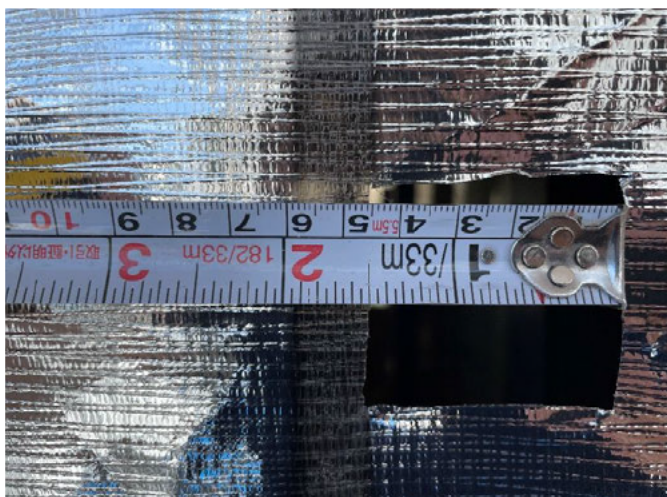
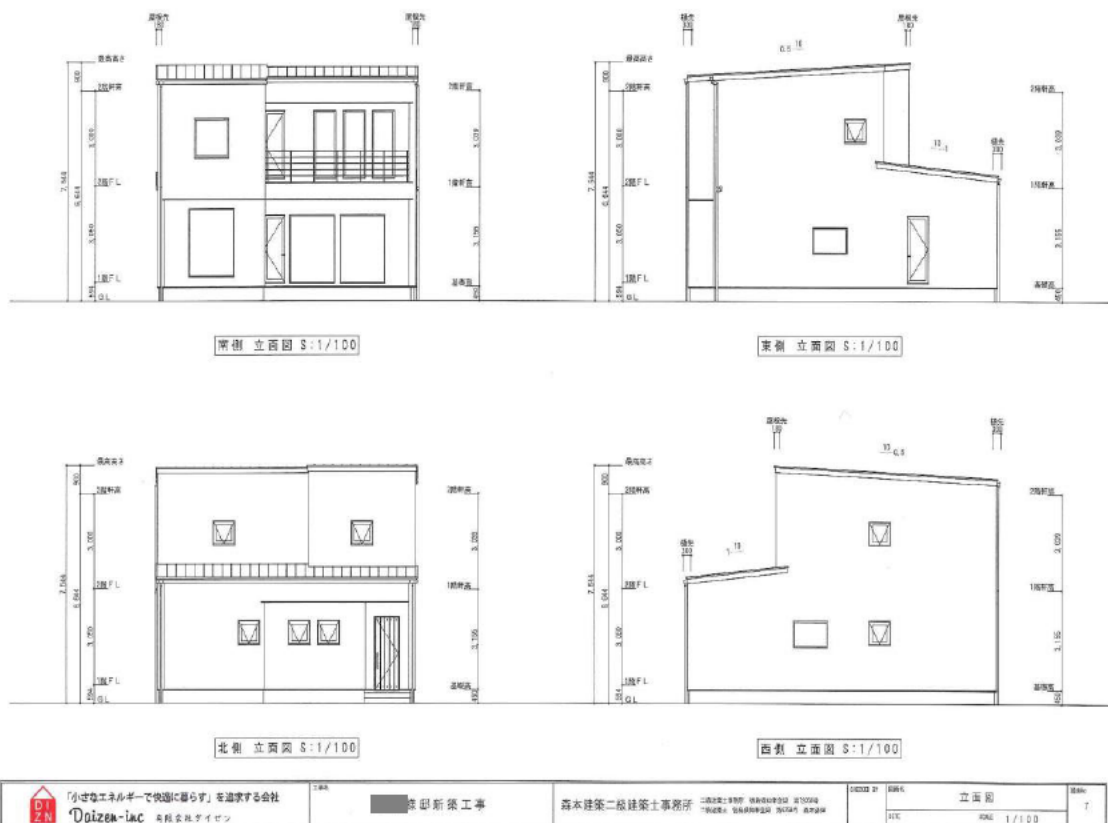
室内温度: 26.4°C
外気温度: 29.7°C

通気量-圧力差特性グラフ



建物概要図

(立面図、写真2点(気密測定器設置状況、測定結果画面))



(8) 縦相当隙間面積 αA (cm^2)

室内外の圧力差 9.8 Pa 時の通気量から、隙間と等価の単純開口の有効面積を算出したもの

一般には、単純開口面積 A に流量係数 α ($0 \leq \alpha \leq 1$) を乗じたものを有効開口面積、有効面積又は実行面積ともいう。